令和3年度2学期四万十町児童生徒指導教員連絡会 議事録（要旨）

日 時 令和3年11月19日（金）15：30開始～17：00終了

場 所 四万十町農村環境改善センター 大会議室

参加者 山脇教育長、岡学校教育課長、野村所長、小野（窪川署）、
児童生徒指導担任または代理（18 全校出席）
加賀田（司会進行）、伊与木、芝、中脇

1 教育長あいさつ

コロナ禍の中、児童生徒指導にご尽力いただいていることに感謝をいたします。ゲームや SNS の課題について、保護者や関係機関と連携を取りながら進めていただきたい。問題の未然防止、早期発見、早期解決に向けて引き続きよろしく願いいたします。

2 各校からの報告

○仁井田小学校

スマホ・SNS および生徒指導上の問題はとくに起こっていない。子どもたちに問題行動が起こった時、素早く対応し解決できるよう、定期的な職朝をおこない職員どうしが情報共有している。

○影野小学校

ゲーム、スマホについても生活リズム調査を行って把握している。大きな問題はないが、誕生日プレゼントがゲームの課金という家庭があり驚いた。DS を使ったプログラミング教室を行った。

○七里小学校

校内のアンケートの結果、大きなトラブルはないが悪口の書き込みがあった。1日の使用時間が長い児童もいる。子ども達への啓発はしているが保護者の働きかけがより必要である。

○米奥小学校

トラブルの事例はない。上級生女子が TikTok をよく見ている。下の学年はゲームが多い。

○窪川小学校

ネットに関する課題は他校と同じ。保護者が子どものネット上の交友関係を把握できていない。配信をしている子どもがいる。

○川口小学校

ネットのトラブルはない。アンケート調査で長時間使用している児童がいる。ネット利用のマナーの必要性を職員で共有している。

○東又小学校

6年生児童が校内で物を盗ったことを SNS 上で発信した児童がいた。自分のデバイスを持っている児童もいる。講演会をしても該当する保護者が来ていない。

○興津小学校

ゲーム・スマホについて目標に達していない児童がいるが、特に大きな問題はない。

○田野々小学校

特に問題はないが、生活リズム調査では長時間使用して夜更かしをしている児童がいる。

○北ノ川小学校

スマホを数人の児童が持っている。大きなトラブルはないが、You Tube を見ている・見えない等で友人間の小さなトラブルはある。生活調べで実態を把握し保護者の聞き取りを行い、情報を共有している。

○十川小学校

大きなトラブルはない。あだ名で呼んだり遊びの中でボールを取りに行かせることがあったので指導をした。不登校傾向の児童が 2 名。

十川小中学校と昭和小学校とでスマホ・SNS アンケート調査をした。前回、町で行ったアンケート時と比べて、所持率が各学年とも 10%ほど増えている。フィルタリングの設定率は低い。自分で買い物をした生徒が小学校高学年で 3 人いる。使用時間は、中学生が平日で 5 時間以上の生徒がおり、休日になると小中とも 5 時間以上が多くなる。

前回の調査から 5 年経っており、内容が変化していると言える。保護者の意見も様々であり、子どもたちもルールを守ろうと努力し頑張っている。

○昭和小学校

アンケート調査を行った。高学年の女子で SNS の中で悪口を言い合った子どもがおり、道徳的見地から指導を行った。男子は課金の話も聞く。不登校ぎみの児童が 2 名。

○窪川中学校

生徒の 7 割から 8 割がスマホを使用している。SNS のトラブルがたまにある。

○大正中学校

スマホ・携帯の保有率は高い。課金、深夜の使用がある。トラブルはないが、授業中に無気力なる、暴言や暴力をそうとは思わない生徒が出るなどの影響が心配される。

○北ノ川中学校

トラブルがないかを教員や SC が細かに聞き取り調査をしている。

○十川中学校

十川小中、昭和の小の 3 校でアンケート調査をした。SNS やネットゲームのルール、ノーゲームデーを設けて注意喚起している。

○窪川高等学校

NTT の講演会での DVD 視聴や警察の小野さんに講演をしてもらった。

本校では朝のホームでスマホを預かり夕方のホームで返すようにしており、休み時間には触れない。町貸与のタブレットでマナー違反が 2 件あり指導済み。今後の対処について検討している。スマホを持たない生徒は 1 名で、ほとんどの生徒が持っている。生徒は朝ホーム主任が来るまでスマホを見て、夕方ホームのあとすぐにスマホを見ている。

校長訓戒の対象はない、休学 2 名。

○四万十高等学校

スマホ・ネットについて講演会をしている。全校生徒 60 名中、寮生が 20 名で、消灯後オンラインゲームをして遅刻の生徒あり。インスタのトップ画面に他人を使った事案あり。校内では門の前で電源をオフして校内での使用はしない。校長訓戒はなし。お金 (2,000 円ほど) の貸借事案では保護者に来てもらい対応をした。コロナの予防接種後に体調不良の生徒 1 名あり。

3 窪川警察署・小野さんより

今年の補導件数は 1 件で有職者のタバコ所持。

私からは、SNS について、不審者対応訓練について、問題行動の児童の対応についての 3 点を述べる。

1 点目、SNS について

課金問題など新しい事案であっても、犯罪の考え方は今も昔も一緒。スマホやネットの機能を先生方が把握せず、使い方を知らないという認知が遅れる。使わなくてもいいので使い方を知ってもらいたい。ネットの使用によって子どもは大人と同等の知識があることも知ってもらいたい。

2 点目、不審者対応訓練について

昭和小学校で訓練を行ったが、管内の学校でも防犯の訓練を積極的にお願いしたい。

3 点目、問題行動の児童の対応について

窪川小学校児童で刃物を校内へ持ち込む事案があり、厳重に注意をしている。事案が起こった時に旬を過ぎると指導が入らない場合がある。いつでも相談してもらいたい。

4 質疑応答

Q 小学校より警察署・小野さんに、子どもへの指導法について聞きたい。

A 主観であるが、今回厳重対応したのは面識のある児童であった。その児童は悪いことであるという認識をしていたし、人によって対応を変える態度であった。言葉で諭すのは難しいが、刃物を持ち、TikTok にやくざごっこで投稿していたことから、きつく叱るように語気を強めて指導した。指導前に保護者の承諾を受けている。警察が怖いところと思われてもよい。どこか厳しい部分が抑止力となると思う。

Q 不登校児童の数が多く、中学に入って不登校になる生徒もいる。小学校の時にやってもらいたいことはあるか？

A 小学校の経験から言うと、中学に入って急にというよりも小学校の時から素地があると思う。

また、発達の特徴もある。学力の定着も関係してくる。

A 高校としては小中高の引継ぎ指導をお願いしたい。最近、赤点指導をした生徒は補習に行きたくないと言い、親も了承している。アプローチが難しいと感じている。

Q 警察で指導する際、問題となる子どもに共通点はあるか？

A 誰の言うことも聞かない、自分が正しいと思い込み行動している。

身上調査をする中で、両親のかかわりが無い、家庭教育がなされていない子どもは悪いことをしても教えてもらえず、自分で善悪を決めて自分のスタイル・生き方を持つようになる。

途中で介入して、ダメなことはいかんと断ることが大切。

5 閉会あいさつ（野村所長）